



2024年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月1日

上場会社名 マブチモーター株式会社
コード番号 6592 URL <https://www.mabuchi-motor.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 徹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・財務担当 (氏名) 萩田 敬一
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 047-710-1127

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	146,098	13.2	15,925	80.8	18,159	9.4	11,064	28.0
2023年12月期第3四半期	129,086	12.7	8,807	18.6	20,036	0.4	15,364	7.9

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 12,404百万円 (68.0%) 2023年12月期第3四半期 38,708百万円 (8.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	86.87	86.85
2023年12月期第3四半期	118.84	118.82

(注) 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	332,878	303,253	91.1
2023年12月期	336,605	305,030	90.6

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 303,190百万円 2023年12月期 304,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		67.00		83.00	150.00
2024年12月期		38.00			
2024年12月期(予想)				38.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年12月期については当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

2. 配当金の内訳

2023年12月期特別配当 第2四半期末52円00銭 期末53円00銭

2023年12月期記念配当 第2四半期末 - 円 - 銭 期末15円00銭

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	189,000	5.8	18,900	21.6	23,900	11.5	15,400	20.7	119.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	131,684,924 株	2023年12月期	132,820,524 株
期末自己株式数	2024年12月期3Q	5,177,642 株	2023年12月期	4,731,412 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	127,360,496 株	2023年12月期3Q	129,287,570 株

(注) 当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。
また、業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 8
(セグメント情報等の注記)	P. 9
(収益認識関係)	P. 10
(重要な後発事象)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年9月30日）における世界経済は、各国におけるインフレ圧力の緩和が進んだものの、物価の高止まりに伴う消費低迷の影響により低成長に留まりました。米国経済は、底堅い雇用及び所得環境を背景に個人消費が堅調に推移したこと等により、緩やかに回復しました。欧州経済は、インフレ圧力の緩和による個人消費の持ち直しが見られたものの、製造業が低迷した影響等により、経済活動の回復ペースは緩慢なものに留まりました。我が国経済は、インフレの影響はあったものの、所得環境の改善による個人消費の回復やインバウンド需要の回復等により緩やかに回復しました。新興国経済は、中国における輸出が堅調に推移したものの、不動産不況の長期化に伴う内需低迷の影響等により、全体として回復速度は緩やかなものに留まりました。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、自動車の生産が回復した一方で、一部の地域において販売の低迷が見られました。ライフ・インダストリー機器市場は、インフレ圧力の緩和に伴い個人消費の回復が見られ、全体として堅調に推移しました。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量では前年同期比2.1%の増加、金額では前年同期比13.2%の増加となりました。これらの結果、当第3四半期における売上高は、1,460億9千8百万円（前年同期比13.2%増）となり、その大半を占めるモーター売上高は、1,460億7千7百万円（前年同期比13.2%増）となっております。

営業利益につきましては、売価・プロダクトミックスの改善や、為替レートが前年同期と比べ円安で推移したこと等により、159億2千5百万円（前年同期比80.8%増）となりました。経常利益は、為替差損益が悪化したこと等により、181億5千9百万円（前年同期比9.4%減）となりました。税金等調整前四半期純利益は179億2千5百万円（前年同期比13.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は110億6千4百万円（前年同期比28.0%減）となりました。

次に、モーターの用途別市場動向と販売状況についてご説明いたします。

① 自動車電装機器市場

売上高は1,131億3千1百万円（前年同期比12.4%増）と増加しました。中型電装用途は、パーキングブレーキ用が搭載車種の拡大、またバルブ用が受注拡大により大幅に増加し、円安の影響も加わり全体としても増加しました。小型電装用途は、ミラー、ドアロック及びエアコンダンパー用が増加し、円安の影響も加わり全体としても増加しました。

② ライフ・インダストリー機器市場

売上高は329億4千5百万円（前年同期比16.1%増）と増加しました。理美容用は採算性重視の方針による受注絞り込みにより微減となった一方で、健康・医療用は、マブチオーケンが手掛ける血圧計用ポンプ・ユニット・モーターの販売が好調に推移し大幅に増加、また事務機器用は在庫を積み増す動きが見られ大幅に増加しました。全体としては円安の影響も加わり増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に対して37億2千6百万円減少し、3,328億7千8百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、受取手形及び売掛金の増加16億3百万円、有形固定資産の減少30億2千3百万円、棚卸資産の減少23億2千4百万円等であります。

負債合計は、前連結会計年度末に対して19億4千9百万円減少し、296億2千5百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、未払法人税等の増加10億8千7百万円、支払手形及び買掛金の減少18億3千5百万円、その他流動負債の減少14億6千7百万円等であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して17億7千6百万円減少し、3,032億5千3百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、利益剰余金の減少17億2千3百万円、純資産の部のマイナス項目である自己株式の増加13億9千4百万円等であります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

世界経済は、各国におけるインフレ圧力の緩和が継続しているものの、地政学的リスクの高まりを背景に各国間の貿易や投資が細る影響等により不透明感が増しており、成長は緩やかなものに留まるものと見込まれます。米国経済は、底堅い雇用及び所得環境の改善が消費の下支えとなり、堅調な推移が見込まれます。欧州経済は、インフレ圧力の低下による個人消費の持ち直しが見込まれ、緩やかな回復が見込まれます。我が国経済は、インフレ圧力の低下及び所得環境の改善による個人消費の伸長を背景に緩やかな回復が見込まれます。新興国経済は、中国経済における不動産不況や個人消費の回復の弱含みの影響があり、世界的なインフレの影響等により新興国全体としての成長ペースは鈍化する見通しです。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、一部地域における完成車の在庫水準が高止まりしており、回復の力強さを欠く状況の継続が見込まれます。ライフ・インダストリー機器市場は、健康・医療機器用の安定的な需要を背景に堅調な推移が見込まれます。

このような状況から、連結業績予想及び配当予想につきましては、変更を行っておりません。なお、本日（2024年11月1日付）、「営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」にて公表のとおり、当第3四半期連結会計期間（2024年7月1日～2024年9月30日）において、為替差損90億7千7百万円を営業外費用に計上いたしております。また、当第3四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年9月30日）において、為替差損14億7千7百万円を営業外費用に計上いたしておりますが、為替差損益の額は今後の為替相場の状況により変動することを踏まえ、予想を据え置いております。

（注）上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・ 為替相場の変動
- ・ 当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
- ・ 新技術・新製品等の急速な技術革新
- ・ 銅・鋼材・レアアース等の相場の変動

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	116,604	115,528
受取手形及び売掛金	33,895	35,499
商品及び製品	38,919	36,181
仕掛品	1,426	1,926
原材料及び貯蔵品	20,104	20,017
その他	7,025	7,057
貸倒引当金	△91	△87
流動資産合計	217,884	216,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	61,648	64,017
減価償却累計額	△38,260	△39,435
建物及び構築物 (純額)	23,388	24,581
機械装置及び運搬具	114,397	116,834
減価償却累計額	△67,589	△72,627
機械装置及び運搬具 (純額)	46,807	44,206
工具、器具及び備品	27,967	28,617
減価償却累計額	△23,967	△24,442
工具、器具及び備品 (純額)	3,999	4,174
土地	7,129	7,058
建設仮勘定	18,749	17,028
有形固定資産合計	100,074	97,050
無形固定資産		
のれん	3,055	3,780
その他	2,521	2,066
無形固定資産合計	5,576	5,847
投資その他の資産		
投資有価証券	10,588	11,327
繰延税金資産	724	790
その他	1,788	1,772
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	13,069	13,858
固定資産合計	118,720	116,756
資産合計	336,605	332,878

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,865	7,029
未払法人税等	2,958	4,045
賞与引当金	236	782
役員賞与引当金	252	181
その他	12,577	11,109
流動負債合計	24,890	23,148
固定負債		
長期借入金	830	711
株式等給付引当金	213	206
退職給付に係る負債	1,304	1,302
資産除去債務	39	39
繰延税金負債	3,830	3,829
その他	465	385
固定負債合計	6,684	6,476
負債合計	31,574	29,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,419	20,419
利益剰余金	230,335	228,612
自己株式	△10,165	△11,560
株主資本合計	261,294	258,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,313	3,796
為替換算調整勘定	40,037	40,842
退職給付に係る調整累計額	321	374
その他の包括利益累計額合計	43,672	45,013
新株予約権	62	62
純資産合計	305,030	303,253
負債純資産合計	336,605	332,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	129,086	146,098
売上原価	98,892	107,007
売上総利益	30,193	39,090
販売費及び一般管理費	21,386	23,165
営業利益	8,807	15,925
営業外収益		
受取利息	1,573	2,023
受取配当金	182	172
為替差益	7,843	—
スクラップ材料売却収入	1,557	1,734
その他	572	436
営業外収益合計	11,730	4,366
営業外費用		
株式関係費	147	160
為替差損	—	1,477
減価償却費	135	177
その他	218	317
営業外費用合計	500	2,132
経常利益	20,036	18,159
特別利益		
固定資産処分益	6	4
投資有価証券売却益	208	—
負ののれん発生益	659	—
退職給付制度改定益	113	—
特別利益合計	987	4
特別損失		
固定資産処分損	233	60
臨時退職金	154	14
減損損失	—	163
特別損失合計	388	238
税金等調整前四半期純利益	20,636	17,925
法人税等	5,271	6,861
四半期純利益	15,364	11,064
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,364	11,064

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	15,364	11,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,058	483
為替換算調整勘定	22,333	805
退職給付に係る調整額	△47	52
その他の包括利益合計	23,344	1,340
四半期包括利益	38,708	12,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,708	12,404
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会決議において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議するとともに、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議いたしました。これにより中間連結会計期間において、次のとおり自己株式の取得及び消却を実施いたしました。

(1) 自己株式の取得

- ① 取得対象株式の種類
当社普通株式
- ② 取得した株式の総数
1,135,600株
- ③ 株式の取得価額の総額
2,999百万円
- ④ 取得期間
2024年2月16日から2024年5月9日まで
- ⑤ 取得方法
投資一任方式による市場買付

(2) 自己株式の消却

- ① 消却する株式の種類
当社普通株式
- ② 消却した株式の数
1,135,600株
- ③ 消却した株式の総額
2,579百万円
- ④ 消却実施日
2024年6月28日

また、2024年8月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式603,700株（取得価額1,310百万円）を取得いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は11,560百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	9,483百万円	10,516百万円
のれん償却額	194	494

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
自動車電装機器市場	11,054	40,609	24,864	24,144	100,673	—	100,673
ライフ・インダスト リー機器市場	1,552	18,368	1,484	6,969	28,375	—	28,375
その他	9	26	—	2	37	—	37
顧客との契約から生 じる収益	12,616	59,004	26,349	31,115	129,086	—	129,086
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,616	59,004	26,349	31,115	129,086	—	129,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66,189	63,127	4,105	93	133,516	△133,516	—
計	78,806	122,131	30,454	31,209	262,602	△133,516	129,086
セグメント利益又は損失 (△)	1,242	7,121	1,362	△774	8,952	△145	8,807

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

第1四半期連結会計期間において、応研精工株式会社 (現：マブチモーターオーケン株式会社) の全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「日本」セグメント及び「アジア」セグメントにおいて613百万円及び46百万円の負ののれん発生益が発生しております。

なお、負ののれん発生益の金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。また、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
自動車電装機器市場	13,209	47,933	26,108	25,879	113,131	—	113,131
ライフ・インダスト リー機器市場	1,397	21,647	1,572	8,327	32,945	—	32,945
その他	14	2	—	3	20	—	20
顧客との契約から生 じる収益	14,621	69,584	27,681	34,210	146,098	—	146,098
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,621	69,584	27,681	34,210	146,098	—	146,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	78,145	69,602	3,553	90	151,391	△151,391	—
計	92,767	139,186	31,235	34,300	297,489	△151,391	146,098
セグメント利益又は損失 (△)	8,413	10,620	△62	△896	18,074	△2,149	15,925

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「ヨーロッパ」セグメントにおいて、2021年7月に行われたエレクトロマグエスエー（現：マブチモーターエレクトロマグエスエー）の株式取得における条件付対価の支払いにより、中間連結会計期間において、のれんを追加的に計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において913百万円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。